

平成18年度現代GP採択事業
瀬戸内の山～里～海から人がつながる環境教育
～大学と地域との相互学びあい型環境教育指導者育成カリキュラムの展開～



愛媛大学共通教育科目の中で展開する環境ESD指導者養成カリキュラム

小林 修

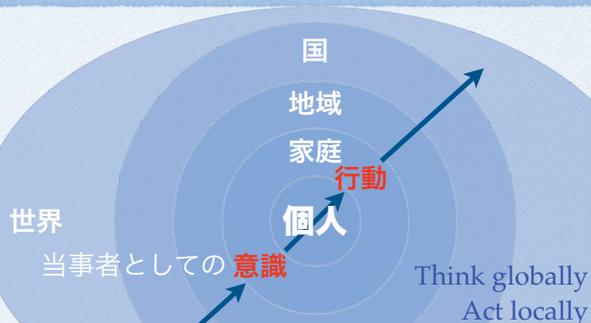
愛媛大学農学部森林教育・教育分野

<http://web.agr.ehime-u.ac.jp/~seto-eesd/>

カリキュラムで養成する人材像

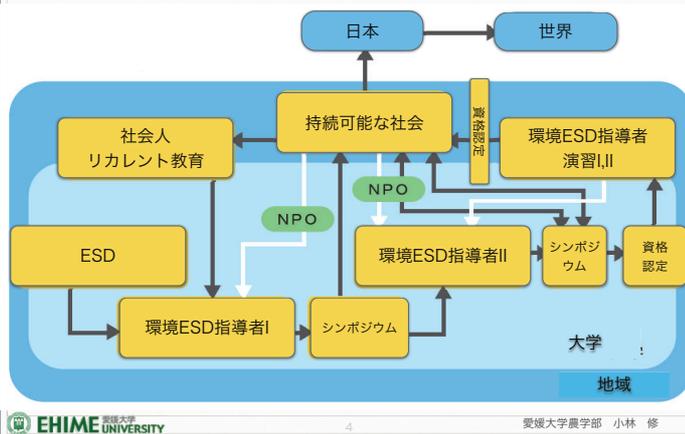
- 自然環境、社会・文化と経済の3つの視点に立って俯瞰的に現状をみる力を育成する (ESDの基本的な視点の育成)
- 自ら地域に出向き、地域から地球規模の環境の諸問題について自ら気づく能力を育成する (課題発見能力の育成)
- グローバル精神に基づき、その問題についてさまざまな方向から考察して問題の解決に取り組むことのできる知識と技能を育成する (問題解決能力)
- 地域のさまざまな意志決定レベルを通して問題を解決しかつ新しい価値を創造することに積極的に働きかけることのできる態度を育成する (社会参画意識の育成)

つながりを生かした行動



つながりを意識した学び

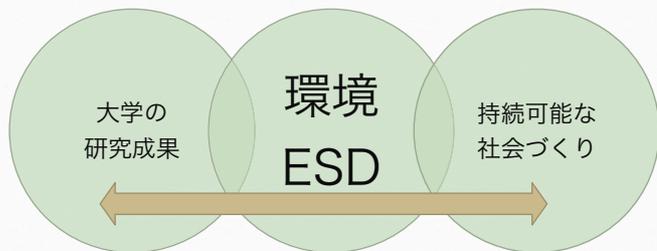
愛媛大学環境ESDの全体像



EHIME UNIVERSITY

愛媛大学農学部 小林 修

持続可能な社会づくりに果たす愛媛大学環境ESDの役割

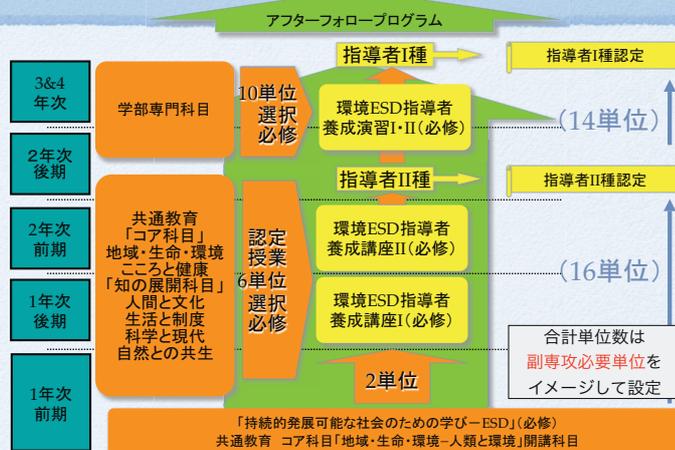


EHIME UNIVERSITY

5

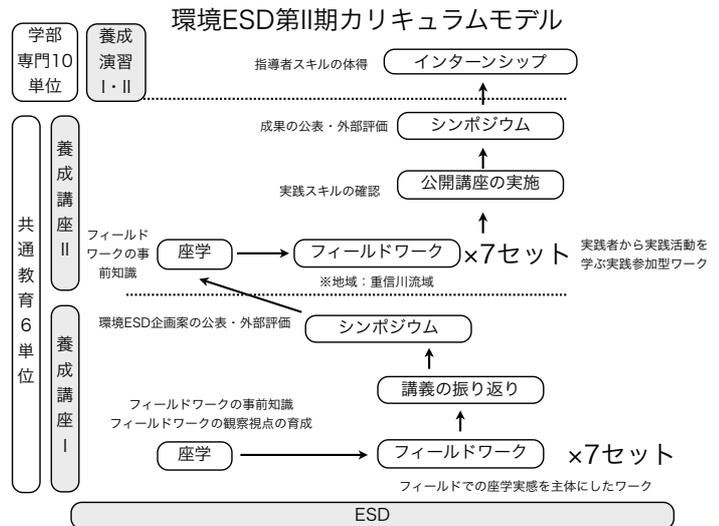
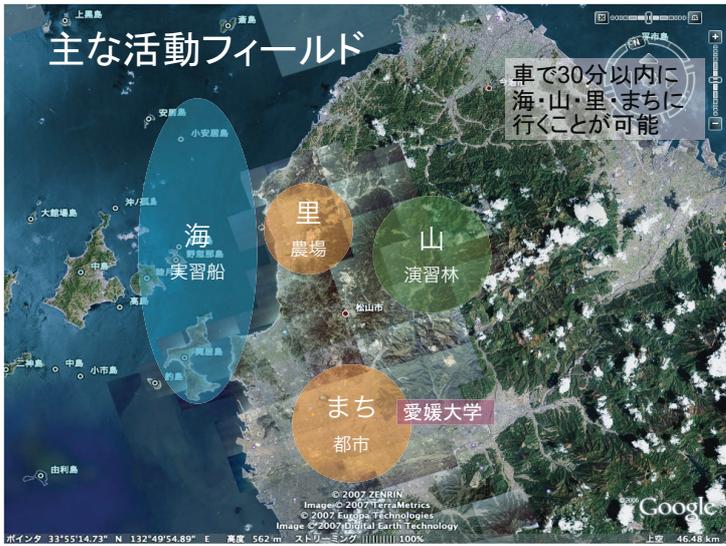
愛媛大学農学部 小林 修

環境ESD指導者養成講座のしくみ



合計単位数は副専攻必要単位をイメージして設定

「持続的発展可能な社会のための学び—ESD」(必修)
共通教育 コア科目「地域・生命・環境—人類と環境」開講科目



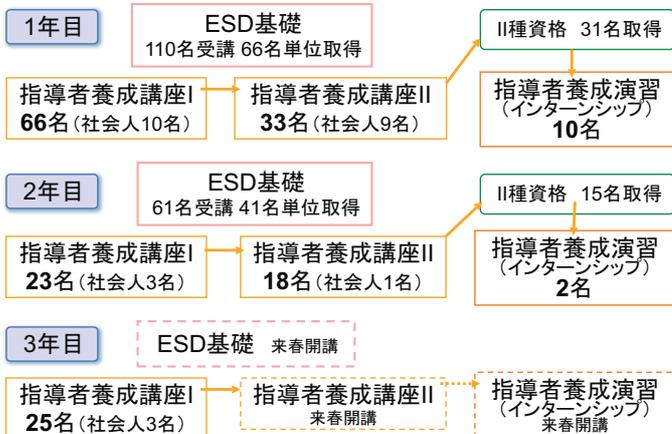
山～里～海のフィールドワーク

- 山**
 - 大学の演習林 踏査、枝打ち、間伐
 - 皿が峰 冬山踏査
 - 遍路道歩き 岩屋寺～浄瑠璃寺
- 里**
 - 大学の農場 田んぼ、畑、果樹園の農作業、ビオトープづくり
 - 土壌調査、料理づくり
 - 東温市井内・音田 子どもと田植え、河川調査、ききとり調査、野鳥観察
- 海**
 - 大学の實習船 プラクトン採集、ナメクジウオ観察
 - 磯の自然観察
 - 弓削商船高専の實習船 船舶体験
- まち**
 - 大川 都市河川踏査、生物調査、水質調査
 - 重信川 ゴミ広い、泉めぐり、自然観察

分野横断的な座学

- 山**
 - 森林づくりと山仕事
 - 森林資源の利活用
 - 海**
 - 海の生態
 - 漁村の社会構造
 - 里**
 - 里の生態学
 - 里の社会学
 - 水**
 - 水の循環
 - 治水・利水とまちづくり
 - 都市の人間活動と雨の行方
 - 水と大気の大循環
 - グローバル**
 - ローカルとグローバル
 - モザンビークとESD
 - 学びの技法**
 - 野外における危機管理
 - グループワークの手法
 - 野外調査の視点と方法
 - 教育工学にもとづく企画
- 延べ 30人の大学教員 10人の外部講師が講義

3年間を通して育った人材



受講生のニーズ

- 大学生
 - 入学前から環境問題に関心がある
 - 分野横断的な学習に興味がある
 - フィールドワークへの参加動機が強く、経験不足を補いたいという希望が強い
 - 環境ESD受講生は、リーダー養成、食育プログラムなどの受講にも強い意欲がある
- 社会人受講生
 - シニア世代における環境ESD実践者が多い
 - これまでの実践活動に対する学術的な裏付けを期待
 - フィールドワークにおいても経験よりは学術的な裏付けを得ることに満足

カリキュラムの副次的効果

- 共通教育認定科目履修制度により、履修分野の片寄りを無くし、自然、社会文化、経済分野の授業からバランス良く履修するしくみを確立
- 学部専門科目の履修に際しては、受講生が自信に学習目標を立てさせることにより計画的な履修と履修動機の向上を促すことができた。

学生のどんな能力を伸ばすべきか

- 学生のニーズ
 - ✓ 環境ESDに関する知識
 - ✓ 活動のスキル・ノウハウ
 - ✓ 資格

- 学生に欠けているもの
 - ✓ 基礎的知識
 - ✓ 自然体験、フィールドワーク
 - ✓ 活動参加の体験
 - ✓ 地域とのつながり
 - ✓ 当事者意識

- 学生に求めるもの
 - ✓ 分野横断的な知識
 - ✓ 科学リテラシー
 - ✓ 参加型の学びの手法
 - ✓ 課題発見力
 - ✓ 分析力
 - ✓ 企画力
 - ✓ コミュニケーション力
 - ✓ コーディネート力
 - ✓ リーダーシップ
 - ✓ 実行力、実践力

全部は盛り込みきれない！

...etc.

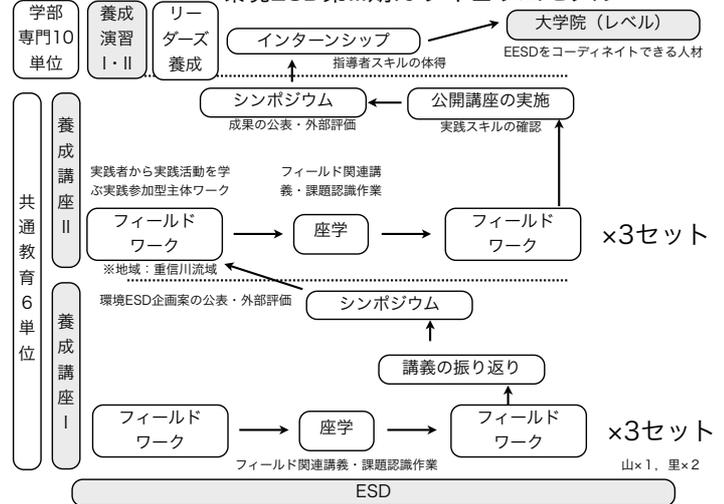
社会人の能力・ニーズとの差

浮かび上がった課題

- 育成すべき「指導者像」は
 - フィールドワーカー？ コーディネーター？
 - ファシリテーター？ それとも、アクティビスト？
- 知識と体験のバランス、順序立て
 - 体験なくして理解なし？
 - 理系と文系のバランスは？
 - 高度な知識を求める社会人と、学生とのギャップ
 - 「科学リテラシーの養成」「フィールド体験」+「ふりかえり」の組合せ
- 「SD」から「ESD」へのシフト
 - 「持続可能性」の問いかけから、「学びのしくみ」づくりへの重点シフト



環境ESD第III期カリキュラムモデル



環境ESD第III期カリキュラムモデル

